

令和5年度「デジタル技術を活用した脱炭素型資源循環ビジネスの効果実証事業 (デジタル技術活用効果実証)」

応募申請書 (記入方法)

| (3) 企業情報 | | |
|---------------------------|---------|-----------|
| ① 業種 | | |
| ※貴社の主たる業種を記載ください。 | | |
| ② 企業概要 | | |
| ※貴社の事業内容や特徴など簡潔に記入してください。 | | |
| ③ 資本金、従業員数、売上等 | | |
| ※申請書提出時、最新年度について記載ください。 | | |
| 資本金 (百万円) | 従業員数等 | 売上等 (百万円) |
| 百万円 (年度) | 人 (年度) | 百万円 (年度) |

| (4) 実証事業の内容 | | | | | | | |
|---------------------------------------|---|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|--|
| ① 事業の概要 | <p>※実証事業の取組概要について、図や写真等を使って簡潔にわかりやすく記載してください。必要に応じて枠を広げて記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような取組か ・どのような効果を創出することを意図しているか ・現在の事業の進捗状況 ・将来のどのような状態を目指しているか目標 | | | | | | |
| ② 事業のポイント | ※従前と導入後の何がどのように変化するか比較する内容、取組の特筆すべきことを記載します。 | | | | | | |
| ③ 事業が提供するサービスの種類 | <p>該当するサービスを選んでください。</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> サービスライジング</td> <td><input type="checkbox"/> シェアリング</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> リユース</td> <td><input type="checkbox"/> リマニュファクチャリング</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> その他 (具体的に:)</td> </tr> </table> | <input type="checkbox"/> サービスライジング | <input type="checkbox"/> シェアリング | <input type="checkbox"/> リユース | <input type="checkbox"/> リマニュファクチャリング | <input type="checkbox"/> その他 (具体的に:) | |
| <input type="checkbox"/> サービスライジング | <input type="checkbox"/> シェアリング | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> リユース | <input type="checkbox"/> リマニュファクチャリング | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> その他 (具体的に:) | | | | | | | |
| ④ 事業におけるデジタル技術の役割 | <p>該当する役割を選んでください。</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> マッチング</td> <td><input type="checkbox"/> 遠隔監視・予防保全</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 需要予測</td> <td><input type="checkbox"/> トレーサビリティ</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> その他 (具体的に:)</td> </tr> </table> | <input type="checkbox"/> マッチング | <input type="checkbox"/> 遠隔監視・予防保全 | <input type="checkbox"/> 需要予測 | <input type="checkbox"/> トレーサビリティ | <input type="checkbox"/> その他 (具体的に:) | |
| <input type="checkbox"/> マッチング | <input type="checkbox"/> 遠隔監視・予防保全 | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 需要予測 | <input type="checkbox"/> トレーサビリティ | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> その他 (具体的に:) | | | | | | | |
| ⑤ 実証事業の構成 | <p>〈従前 (ベースラインとなるシナリオの設定) 〉</p> <p>※<u>巻末に過年度の実証事業事例のリンクがありますので、記載に際して参考にしてください。</u></p> <p>※例えば、原料調達・生産から処理の検討のベースとなるシナリオのプロセスを記載します。</p> <p>例 ; リユース</p> <pre> graph LR A[原料調達] --> B[生産] B --> C[流通] C --> D[使用] D --> E[回収・廃棄] style D fill:#add8e6 </pre> <p>〈取組 (脱炭素型 2R ビジネス) 後〉</p> <p>※取組 (脱炭素型 2R ビジネス) によって、シナリオのプロセスがどのように変化するかを記載します。</p> <p>※必要に応じて説明用の資料を添付しても構いません。</p> | | | | | | |

| | |
|--|--|
| ⑥ 事業におけるデジタル技術の位置づけ、効果 | <p>※上記⑤で挙げたデジタル技術の役割を具体的に記載します。</p> <p>※デジタル技術を導入することによる効果などを記載してください。</p> |
| ⑦事業によって期待される効果 | |
| ※ここに挙げた効果を必ずしも評価対象にするわけではありません。評価対象は事務局との協議の上、選定します。 | |
| 脱炭素・温室効果ガス（GHG）排出削減の効果 | <p>※想定でも結構ですので、考えられる効果をできるだけ列挙してください。</p> <p>※これまでに定量的に把握している効果があれば数値も記載してください。</p> <p>※現時点で効果の検証のために提供できると考えているデータがあれば記載してください。</p> |
| 資源循環促進の効果 | ※上記 GHG と同じく、資源循環促進の効果について記載してください。 |
| その他の効果【任意】 | ※上記 GHG や資源循環促進以外で社会的・経済的に期待できる効果等があれば記載してください。 |
| ⑧デジタル技術への投資額をご記入ください。 | |
| ※可能な範囲で構いません。また、対象年度（西暦）もご記入ください。 | |
| 百万円（ ）年度 | |

| | |
|--|--|
| （5）本実証事業の実施体制等 | |
| ①実施体制 | |
| （記入例） | |
| ※本実証事業の実施体制図を法人単位で記入してください。また、法人ごとの役割を簡潔に説明してください。 | |
| ②概算費用 | |
| 概算費用（税抜総額） | <p>※応募時点で想定する費用を概算で記入してください。委託契約を締結する前に、正式に費用を見積もっていただきます。</p> <p style="text-align: right;">円</p> |
| ③費用内訳 | <p>※上記②の金額について、「環境省における委託業務経費の算出等に関する基本方針（令和2年12月）」の費用項目に従い、項目ごとに概算を記入してください。</p> <p>1) 人件費</p> <p>2) 業務費</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <p>・旅費、諸謝金、会議費、備品費・借料及び損料 等</p> <p>3) 一般管理費</p> <p>4) 委託費（内容； ）</p> |

| | |
|--|--|
| （6）応募条件についての同意 ※「デジタル技術を活用した脱炭素型資源循環ビジネスの効果実証事業」公募要領より下記をご一読いただき、本実証事業に応募する場合は以下①～⑤全てに同意の上チェックをしてください。 | |
| <input type="checkbox"/> | ①本事業による支援の範囲である、「2.事業の概要」の「2-2 実証の内容」を実施すること。これには「個社面談」（5回程度）に参加することを含む。 |
| <input type="checkbox"/> | ②公表資料を環境省等の WEB サイトに掲載すること。 |
| <input type="checkbox"/> | ③効果の推計に必要な情報やデータを可能な範囲で事務局に提供すること。 |
| <input type="checkbox"/> | ④事務局に提供した事業情報を本事業の遂行に必要とする範囲内で環境省及び、事務局が使用すること。 |
| <input type="checkbox"/> | ⑤環境省あるいは事務局から本事業への協力依頼や公表資料の修正に関わる協力の要請があった場合は、その対応に最大限協力すること。 |

《過年度の実証事業の事例》

実証事業 1 : フリマアプリ「メルカリ」(株式会社メルカリ)

https://www.jmac.co.jp/news/items/mercari_1.pdf

実証事業 2 : ファッションレンタルサービス「airCloset」(株式会社エアークローゼット)

https://www.jmac.co.jp/news/items/air-closet_2.pdf

実証事業 3 : 設備保全プラットフォームサービス(ユニアデックス株式会社)

https://www.jmac.co.jp/news/items/uniadex_3.pdf